

83号線ブロック部会の活動報告

1) 第33回ブロック部会議事要旨

83号線ブロック部会 第33回ブロック部会 議事要旨

開催日時	平成28年3月10日(木) 午後7時～8時30分
開催場所	十条台ふれあい館 第一ホール
出席者	部会役員 : 喜多村部会長、原副部会長 事務局 : 岩本課長、國保、和田、遠藤、新田(北区十条まちづくり担当課) コソカウト : 高尾、木村、津端、鈴木((株)アルメックVPI)
参加者	21名
議事次第	<p>◆報告◆</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「十条地区まちづくり基本構想」の修正について2. 十条地区のまちづくりの進捗状況について<ul style="list-style-type: none">・ JR 埼京線沿線のまちづくりについて・ 地区計画の策定等について・ 都市防災不燃化促進事業の導入について・ 密集事業の進捗状況、事業期間の延長について <p>◆議題◆(意見交換等)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 中十条三丁目のまちづくりについて2. 岸町二丁目のまちづくりについて3. 補助83号線沿道のまちづくりなどについて

【第33回補助83号線ブロック部会の様子】



【開催要旨】

1. 報告1・2について

- 「十条地区まちづくり基本構想の修正」、「十条地区のまちづくりの進捗状況」について、北区から説明がありました。
- (参加者) 十条地区まちづくり基本構想に、にぎわいという表現が示されていますが、十条のような条件のところでどこか成功したところがあれば教えてください。私が知っている限りはうまくいっていないと思います。

○（北区）北区には、にぎわいの拠点として赤羽、十条・東十条、王子、田端があり、先進事例としては再開発が行われた赤羽があります。課題はまだありますが、鉄道の立体交差で踏切が解消し東西交流が進んだことと、再開発で板橋区や足立区などから人が集まるようになったことは、にぎわいの拠点づくりに大きく貢献したと認識しています。

○（参加者）鉄道附属街路の幅員に差があるのは、なぜですか。

○（北区）最も狭い幅員は防災上の観点から有効な幅員として6mとしています。駅に近づくにつれて、駅付近の道路網強化と歩行空間確保の観点から、6mに付加する形で幅員を広げています。

○（参加者）立体化により踏み切りが解消されるようですが、高架下の高さは何mになるのでしょうか。

先日、東京都が土砂災害について見解を発表しましたが、このことについて、十条地区に影響はありますか。

資料の5ページ上段の消防活動困難区域について、日常時は幅員4m以上の道路から50m、震災時は幅員6m以上の道路から140mと示されています。災害時には、がれきなどがあり、消防活動は困難となるわけですが、140mをカバーできるのですか。日常時の4m道路を震災時の6m道路に置き換えるのは間違っています。

○（北区）立体交差化事業は東京都の計画です。昨年2月に同事業に関するパンフレットが配布されていますが、高架下の高さは示されていません。

東京都から発表のあった土砂災害の区域は、東京都のホームページによりますと、十条地区では岸町一丁目土砂災害の特別警戒区域となっており、当ブロック内ではありません。

消防活動困難区域は、平常時消防活動困難区域と震災時消防活動困難区域に分けるといいう考え方があります。消防庁によると、消防活動が可能な区域ということで、平常時は幅員4m以上の道路から50m以内、震災時は幅員6m以上の道路から140m以内とされています。密集事業では、これらより遠い区域を消防活動困難区域としています。

2. 議題1. 中十条三丁目のまちづくりについて（意見交換の概要）

■十条の将来像について

○「にぎわいとやすらぎ」というテーマが設定されていますが、今がやすらぎのまちであり、変わる必要はないと思います。

○区画整理や高層住宅は本地区には必要ありません。せいぜい5階建程度で十分だと思います。昭和30年代に建築された高層住宅が建て替えの時期に来ており問題となっています。

○建物の高さを規制することはできるのか。

→地区計画で規制することはできますが、地域の皆さんとの合意・形成が必要です。

○中十条一丁目に7階建てを建てるといいう計画があると聞きましたが立てられるのですか？

→その地区の基準を満たしていれば建築可能です。

○十条はターミナルではないので、にぎわいのまちではありません。十条銀座には学生は来ないと思います。

■富士塚について

○高層住宅で隠してほしいありません。

○無くさないでほしいです。

■補助83号線事業について

○戦後の都市計画で決められてから70年がたち、やっと事業着手しました。補助83号線Ⅱ期区間はいつ頃完成しますか。

→事業認可期間は7年ですが、それ以上かかる可能性もあります。今年の春から少しずつ解体が始まると思われます。

○補助83号線の整備により建物がセットバックして、見通しが良くなり、とても良いと思います。

■鉄道立体化事業について

○一人暮らしの高齢者に、立体化の側道の話が届いていません。足が悪くてこういう場に出てくるのが難しい人もいます。そういう状態で、計画を進めていっても良いのですか。

→広報など、いろいろな方法で周知に努めていますが、それ以外にも良い方法があればご提案いただけると幸いです。

○災害に強いまちづくりを進めなくてはならないことは承知していますが、だからといって50年以上住んできた家を簡単に手放すことはできません。一緒に議論する場が必要です。

3. 議題2. 岸町二丁目のまちづくりについて（意見交換の概要）

■まちの課題について

○岸町二丁目を線路沿いに貫く道路は、避難上、防災上も大切な道路です。せめて4m以上の幅員が必要です。

○道路に面していない建物が多く、道路に出るまで、お隣の敷地を通らざるを得ません。火災の際に消防車が入れないほか、建て替えがそもそも困難です。

○補助83号線に沿って急な崖があるため、地形的に道路整備も困難な状況です。

○古いアパートが多く、建物の間隔も狭いため、倒壊や延焼の危険があります。また、大家さんは地区外にお住まいの方が多く、まちの問題点を認識していないかもしれません。

○十条台小学校北東側の一角では、道路に面していない建物が特に多く、土地や建物の所有者が不明な箇所もあります。道路がないため、行き来は狭い通路に依存しています。先日も、この通路が陥没しました。

■防災性の向上に向けた取り組みについて

○火災などの災害を防ぐために、火災報知器や感震ブレーカーなどの設置に対して行政の助成があると良いです。

→今のところ、北区での助成はありませんが、検討すべき課題だと考えています。

○延焼を防ぐための初期消火用に、車輪が付いた大型消火器を岸町二丁目の中に4箇所

ほど設置できるとよいです。

○老朽化した建物は建てたままでなく、除却する、公園にするなどの対策も有効と考えます。

○AEDが現在は小学校にしか設置されていないので、岸町二丁目の中でせめてもう1箇所あると良いです。

■今後、議題にしたいこと

○岸町二丁目では、災害に強いまちの実現に向け、仕組みや可能性などの検討を続けていく必要があります。

4. 議題3. 補助83号線沿道のまちづくりなどについて（意見交換の概要）

■補助83号線Ⅱ期間の事業について

○これまでの事業に比べると難しくなる（時間がかかる）と思います。

○沿道は防火遮蔽帯のようになると良いですが、残地で建て替えをすると、小さい建物になり不燃化されない可能性があります。

■補助83号線の工事期間中の生活について

○柵があり、道路に出るまでの動線が複雑になっており、困っている人が多いと思います。

■富士塚の保全と補助83号線の幅員について

○補助83号線の幅員を13mに狭めると、富士塚の参道の一部のみが道路にかかることになり、富士塚本体は保全されると思います。

○幅員を狭めて富士塚を保全するという考えは、ブロック部会でよく議論し、東京都に対して、主張していくことが重要と考えます。

■学校統廃合による通学路と補助83号線について

○学校統廃合に関する検討が来年度から始まります。場合によっては通学路が変わるため、補助83号線との関係が無視できなくなります。

○学校統廃合に関する話は、慎重に議論すべきと思います。

■自転車レーンについて

○自転車レーンを車道の端に設置したらどうでしょうか。

→断面構成は明らかになっており、歩道上で確保されることとなっています。歩行空間と自転車走行空間が物理的に区分され確保されます。

○自転車利用が多いので物理的な区分はしない方が良いのではないのでしょうか。

→マナーの問題があるため、物理的な区分をした方が安全性は高まると思います。

■環七の横断について

○震災時における高齢者の避難を考えると、環七の横断に技術的な工夫が必要だと思います。

■今後、議題にしたいこと

○補助83号線の工事期間中の生活について

○学校統廃合による通学路変更等の可能性を踏まえた児童の交通安全確保について

○鉄道附属街路について（埼京線の西側住民も含めて意見交換したい）

○富士塚の保全と補助83号線の幅員について

5. 最後に

- （部会長）今年度のブロック部会の運営に協力いただき、ありがとうございました。来年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。
- （副部会長）色々なご意見やご質問、ありがとうございました。これで閉会とします。来年度もよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上